

# プレーで恩返し誓う

プロ野球ロッテ指名育成5位 会津北嶺高の富山選手

## 「打てる捕手 目標」

### 戦う姿 会津の人 に届ける

26日に開かれたプロ野球の新人選択会議(ドラフト会議)で、ロッテから育成5位で指名された会津北嶺高の富山紘之進捕手は「会津や母校への恩返し の気持ちでプレーしたい」と誓った。

会津若松市の校内で運命の瞬間を待った。名前が読み上げられると、ともに吉報を待ったチームメートから厚い祝福を受けた。胴上げされ、篠原良部長ら野球部の指導者と強く握手を交わした。

181センチの恵まれた

体格で、1年夏からベンチ入りした。2年夏から正捕手を務め、巧みなリードで投手の力を引き出した。二塁送球は1・8秒と強肩。篠原部長は「捕手としてのインサイドワークを(球団に)評価してもらえたのではない

か」と話す。

今夏の全国高校野球



福島大会で富山捕手は全5試合で4番を務め、打率は2割9分4厘。「打撃はまだまだ。打てる捕手が目標なので力を付けた」と語る。ロッテでは、いわ

き市出身の佐藤都志也捕手が1軍で活躍している。「先輩たちを見習い、技を吸収する」と成長を期す。

大阪市出身。会津北嶺高に進学するまで、本県を訪れたことはなかった。冬場は降雪の多さに驚いた。会津地方の料理ではラーメンや馬刺しが好きだという。「全国の舞台で戦う姿を会津の人に届けたい」。同校初のプロ野球選手として、大きく羽ばたく覚悟だ。

ロッテから育成5位で指名され、篠原部長と握手を交わす富山捕手

(左)